

2021年12月期 決算補足説明資料

井関農機株式会社

2022年2月15日

1. 2021年12月期 業績の概要

2. 2022年12月期 業績予想



食と**農**と**大地**の
ソリューションカンパニー

1. 2021年12月期 業績の概要

ポイント

<2021年12月期 実績>

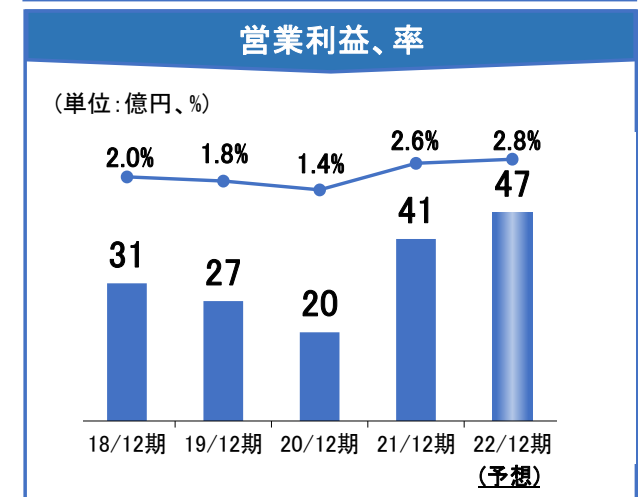
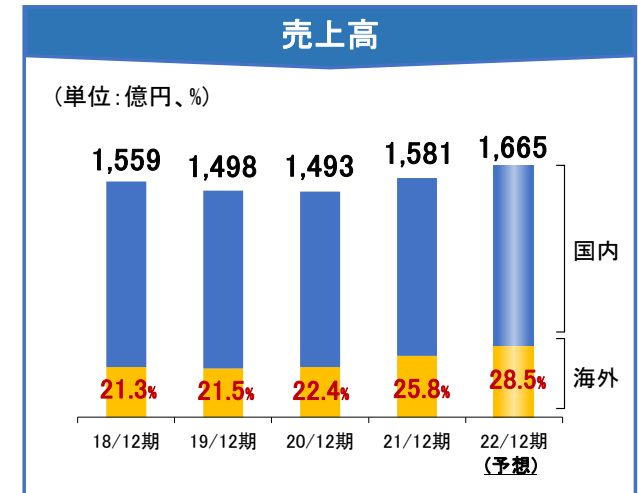
増収増益、ほぼ業績予想通り

- 国内 : 消費増税反動減からの回復
経営継続補助金などに伴う需要喚起と反動
- 海外 : 海外売上高は過去最高
北米・欧州で海上輸送用コンテナ不足による未出荷など受注残増大
- 収益 : 増収による売上総利益の増加
一方で原材料価格高騰の本格化による収益圧迫

<2022年12月期 業績予想>

増収・営業増益、期末配当30円

- 売上高 : 海外売上高を中心に前期比増収
- 利益面 : 原材料価格高騰に伴う収益圧迫はあるも、増収による売上総利益の増加に加え、構造改革と経営効率化の更なる取り組みにより増益



		前期 (20/12期)	当期 (21/12期)
国内		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 消費増税反動減 ✓ 新型コロナウイルス感染症による営業活動自粛 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 消費増税反動減からの回復 ✓ 営業活動自粛が前年同期比では緩和 ✓ 経営継続補助金などに伴う需要喚起と反動 ✓ 米価下落による購買意欲減退
	北米	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 巣ごもり特需により需要は堅調 ✓ 部品入荷遅れによる減少(当社一過性要因) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ライフスタイルの変化による需要拡大 ✓ 海上輸送用コンテナ不足による未出荷などの受注残増大
海外	欧州	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 春先にロックダウン影響があったものの下期以降回復 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ライフスタイルの変化により新たに掘り起こされたコンシューマー向け需要は堅調 ✓ ワクチン接種の進展や新規感染者減少による行動制限の緩和 ⇒プロ向け市場も徐々に回復
	アジア	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国 <ul style="list-style-type: none"> ・食糧確保政策や移動制限により農機需要喚起 ✓ アセアン(タイ) <ul style="list-style-type: none"> ・干ばつにより農家の家計状況、農機需要に影響はあるも、9月以降雨量は総じて回復傾向 ✓ 韓国 <ul style="list-style-type: none"> ・大型農機需要継続 ✓ 台湾 <ul style="list-style-type: none"> ・大型農機購入補助金施行による需要拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国 <ul style="list-style-type: none"> ・食糧確保政策継続や穀物価格の安定等により市場好調継続 ✓ アセアン(タイ) <ul style="list-style-type: none"> ・政府による需要喚起や補助金等の施策により市場は堅調 ✓ 韓国 <ul style="list-style-type: none"> ・大型農機需要継続 ✓ 台湾 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金反動減

連結業績の概要

(2021年1月1日～2021年12月31日)

(単位: 億円、%)

	18/12期		19/12期		20/12期		21/12期		前期比	※ 予想比
	実績	実績	実績	比率	実績	比率	実績	比率		
売上高	1,559	1,498	1,493	100.0	1,581	100.0	+ 88	△ 8		
(国内)	1,228	1,177	1,159	77.6	1,173	74.2	+ 14	△ 5		
(海外)	331	321	333	22.4	407	25.8	+ 73	△ 3		
営業利益	31	27	20	1.4	41	2.6	+ 20	+ 1		
経常利益	26	11	17	1.1	46	3.0	+ 29	△ 0		
親会社株主に帰属する 当期純利益	10	7	△56	-	31	2.0	+ 88	△ 2		
為替平均 レート (円)	米ドル	110.2	109.3	107.0	109.0	+2.0	+ 1.0			
	ユーロ	130.9	121.6	121.5	129.8	+8.3	△ 0.2			

※予想比: 2021年11月12日業績予想との対比

国内売上高

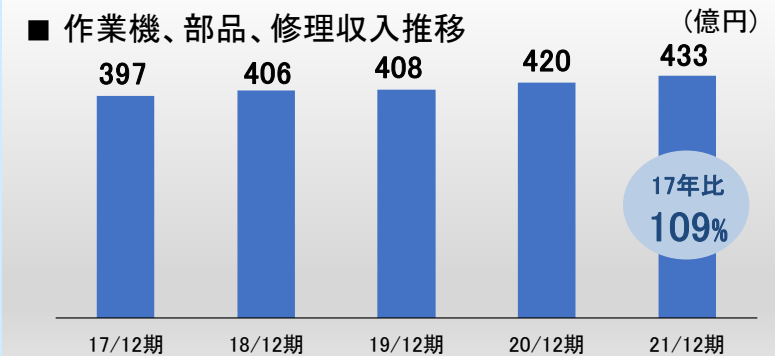
前期比
+14億円

消費増税反動減からの回復や経営継続補助金などに伴う需要喚起もあり国内売上全体では増収

(単位:億円)		18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	前期比	※予想比
農機 製品 関連	整地機	274	253	228	239	+ 10	+ 1
	栽培機	91	90	88	90	+ 2	△ 2
	収穫調製機	199	185	168	166	△ 2	△ 2
	小計	565	530	486	496	+ 10	△ 3
	作業機	202	200	204	220	+ 15	+ 2
	部品	148	150	156	153	△ 2	△ 2
	修理収入	55	57	58	59	+ 0	△ 1
	小計	406	408	420	433	+ 13	△ 1
	計	971	938	906	930	+ 23	△ 4
	施設工事	56	45	61	42	△ 18	△ 2
その他農業関連	199	193	191	201	+ 10	+ 2	
合計	1,228	1,177	1,159	1,173	+ 14	△ 5	

主な増減要因(前期比)

- ✓ 農機製品・作業機は、消費増税反動減からの回復や経営継続補助金などに伴う需要喚起もあり増収
- ✓ 作業機、部品、修理収入は引続き堅調に推移



※予想比:2021年11月12日業績予想との対比

海外売上高

前期比
+73億円

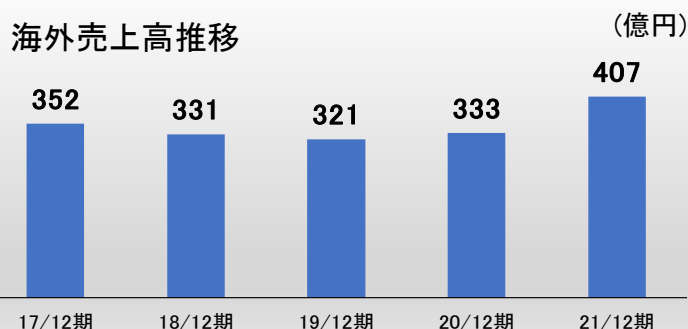
海外売上高は過去最高
北米・欧州では海上輸送用コンテナ不足による未出荷などの受注残増大

(単位:億円)	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	前期比	※予想比
北米	115	132	128	151	+ 23	+ 1
欧州	138	128	139	159	+ 19	△ 2
アジア	73	55	62	91	+ 29	△ 2
その他	4	5	3	5	+ 1	+ 0
連結売上高合計	331	321	333	407	+ 73	△ 3

主な増減要因(前期比)

- ✓ 北米：ライフスタイルの変化に伴う好調なコンパクトトラクタ市場を背景に増収
- ✓ 欧州：ライフスタイルの変化に伴うコンシューマー向けを中心とした好調な販売により増収
- ✓ アジア：前期末にタイの販売代理店を連結子会社化したことや、中国向け生産用部品の出荷増などにより増収

海外売上高推移



※予想比:2021年11月12日業績予想との対比

営業利益

前期比
+20億円

増収による売上総利益の増加に加え、前期に計上があった部品在庫評価損の剥落などもあり増益、一方、原材料価格高騰の本格化が収益を圧迫

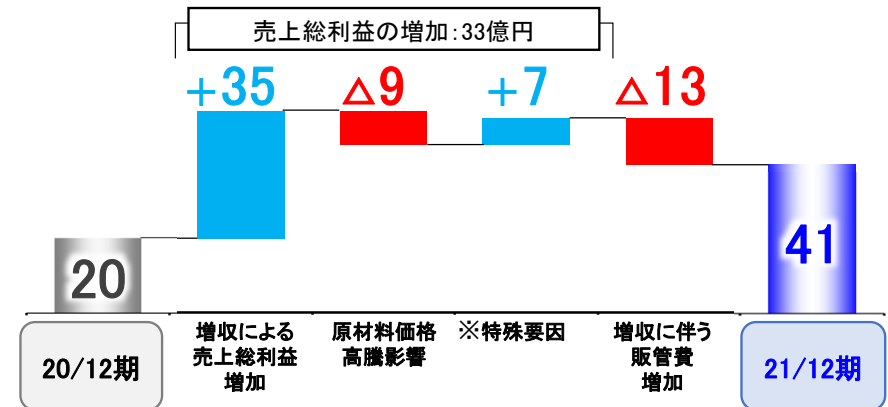
(単位: 億円、%)

	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	前期比
売上高	1,559	1,498	1,493	1,581	+ 88
売上総利益	459	445	434	468	+ 33
粗利率	29.5%	29.7%	29.1%	29.6%	+ 0.5%
販管費	427	417	413	426	+ 13
人件費	253	246	251	252	+ 1
その他経費	174	170	162	174	+ 11
営業利益	31	27	20	41	+ 20

※予想比
△ 8

+ 1

【営業利益増減内訳(前期比)】



※特殊要因

- ・前期に計上があった部品在庫評価損の剥落 +2
- ・前期減損損失計上に伴う減価償却費の減少 +5

【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+6	△5	△1	△0

※予想比: 2021年11月12日業績予想との対比

経常利益、当期純利益

経常利益
前期比
+29億円

経常利益：為替差損益の好転や持分法投資損失の縮小に加え、一過性の営業外収益計上もあり増益
 税前利益：前期に計上があった固定資産減損損失の減少

(単位：億円)	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	前期比
営業利益	31	27	20	41	+ 20
金融収支	△ 7	△ 7	△ 6	△ 6	+ 0
その他営業外損益	2	△ 8	3	11	+ 8
経常利益	26	11	17	46	+ 29
特別利益	1	5	6	0	△ 5
特別損失	△ 5	△ 3	△ 94	△ 4	+ 90
税前利益	22	13	△ 71	43	+ 114
税、税調整額	△ 11	△ 5	14	△ 11	△ 26
親会社株主に帰属する 当期純利益	10	7	△ 56	31	+ 88

※ 予想比
+ 1
△ 0
△ 0
△ 2

営業外・特別損益増減内訳(前期比)	
為替差損益	+4億円
持分法投資損失の縮小	+1億円
受取和解金	+4億円
持分変動利益の剥落	△6億円
減損損失の減少	+90億円

・ご参考)持分法関連 (単位：億円)

	20/12期 実績	21/12期 実績	増減
持分法投資損益 (営業外)	△4.6	△3.2	+1.4
持分変動損益 (特別)	6.5	—	△6.5

※持分法適用会社 前期：東風井関、IST 2社
 当期：東風井関 1社

※予想比：2021年11月12日業績予想との対比

バランスシート

前期末比

増収・増益に加え、売上債権・棚卸資産の減少と仕入債務の増加により、有利子負債は圧縮、現預金は増加

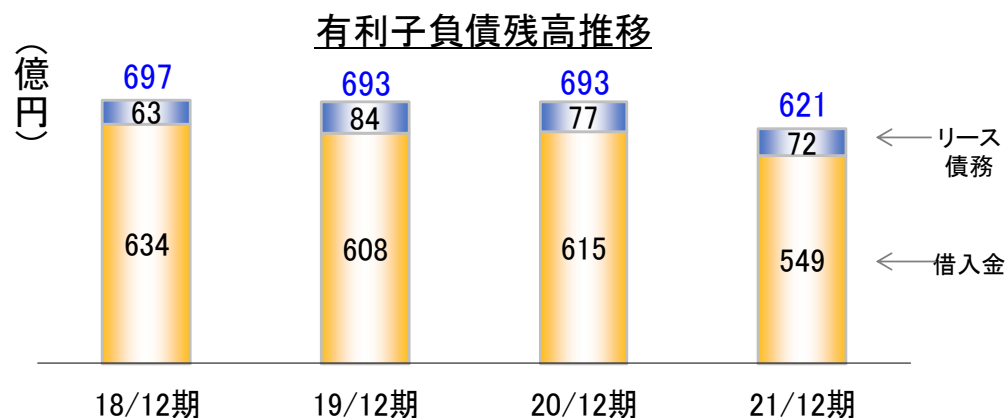
(単位:億円)

	20/12月末	21/12月末	増減		20/12月末	21/12月末	増減
現預金	107	148	+ 40	仕入債務	368	392	+ 24
売上債権	217	215	△ 2	有利子負債	693	621	△ 71
棚卸資産	518	498	△ 19	(借入金)	(615)	(549)	(△66)
(商品及び製品)	(438)	(415)	(△23)	その他負債	187	196	+ 8
その他流動資産	55	48	△ 7	(再評価に係る繰延税金負債)	(40)	(40)	(±0)
流動資産計	899	911	+ 11	負債計	1,250	1,211	△ 38
有形固定資産	862	849	△ 13	純資産	624	665	+ 41
無形固定資産	19	22	+ 3	(利益剰余金)	(144)	(176)	(+31)
投資その他資産	91	93	+ 1	(土地再評価差額金)	(88)	(88)	(±0)
固定資産計	974	965	△ 8	負債・純資産計	1,874	1,876	+ 2
資産合計	1,874	1,876	+ 2				

有利子負債
自己資本
配当

有利子負債の圧縮が進み、D/Eレシオは1倍を下回る
期末配当は30円の復配

1. 有利子負債・自己資本



D/Eレシオ(倍)	1.0	1.0	1.1	0.9
自己資本比率(%)	33.4%	34.2%	32.4%	34.5%
有利子負債(億円)	697	693	693	621
純資産(億円)	689	692	624	665

2. 配当

(単位:円)

	20/12期 実績	21/12期 予定
期末配当	0	30

キャッシュ・フロー

キャッシュ・フロー

増益に加え、継続した在庫圧縮などにより営業キャッシュ・フローは前期比45億円収入増
中計期間累計(2021～2025年)で600億円の営業キャッシュ・フロー創出を目指す

(単位:億円)	17/12期 実績	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	33	76	105	96	142	+ 45
(税金等調整前当期純利益)	38	22	13	△ 71	43	+ 114
(減価償却費)	70	67	68	69	65	△ 4
(減損損失)	2	1	1	93	1	△ 91
(売上債権の増減額(△は増加))	△ 1	18	35	△ 18	4	+ 22
(たな卸資産の増減額(△は増加))	△ 38	△ 2	△ 7	32	24	△ 8
(仕入債務の増減額(△は減少))	△ 19	△ 10	△ 18	△ 8	21	+ 29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 52	△ 99	△ 71	△ 51	△ 20	+ 31
(有形及び無形固定資産の取得による支出)	△ 56	△ 68	△ 83	△ 66	△ 46	+ 19
フリーキャッシュフロー	△ 19	△ 23	34	45	121	+ 76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 42	19	△ 23	△ 21	△ 83	△ 61
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 61	△ 4	9	23	40	+ 16

2. 2022年12月期 業績予想

<事業環境の前提>

- ✓ 国内外ともに新型コロナウイルス感染症は依然残るものの、オミクロン型変異株は上期中には収束に向かい、社会活動や経済活動も緩やかに回復していくものと仮定
- ✓ 当社グループの販売面における影響は限定的も、サプライチェーンの混乱や生産遅延などのリスクは残る

2022年12月期 連結業績予想



連結
業績予想

前期比増収、営業増益
期末配当30円

(単位:億円、%)		18/12期	19/12期	20/12期		21/12期		22/12期		前期比
		実績	実績	実績	比率	実績	比率	予想	比率	
売上高		1,559	1,498	1,493	100.0	1,581	100.0	1,665	100.0	+ 83
(国内)		1,228	1,177	1,159	77.6	1,173	74.2	1,190	71.5	+ 16
(海外)		331	321	333	22.4	407	25.8	475	28.5	+ 67
営業利益		31	27	20	1.4	41	2.6	47	2.8	+ 5
経常利益		26	11	17	1.1	46	3.0	46	2.8	△ 0
親会社株主に帰属する 当期純利益		10	7	△56	—	31	2.0	31	1.9	△ 0
為替平均 レート(円)	米ドル	110.2	109.3	107.0		109.0		110.0		+ 1.0
	ユーロ	130.9	121.6	121.5		129.8		130.0		+ 0.2
期末配当(円)		30	30	0		30		30		± 0

国内売上高予想

国内売上高

農業の構造変化に対応した大型機械、スマート農機に加え、サービス・サポート対応の推進強化と、堅調な部品・修理収入により増収を見込む

(単位: 億円)

		18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	22/12期 予想	前期比
農機 関連	農機製品	565	530	486	496	516	+ 19
	作業機	202	200	204	220	214	△ 6
	部品	148	150	156	153	157	+ 3
	修理収入	55	57	58	59	62	+ 2
	小計	406	408	420	433	433	△ 0
計		971	938	906	930	949	+ 18
施設工事		56	45	61	42	44	+ 1
その他農業関連		199	193	191	201	197	△ 4
合計		1,228	1,177	1,159	1,173	1,190	+ 16

海外売上高予想

海外売上高

北米、欧州におけるライフスタイルの変化に伴う需要拡大の継続

(単位:億円)

	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	22/12期 予想	前期比
北米	115	132	128	151	188	+ 36
欧州	138	128	139	159	174	+ 14
アジア	73	55	62	91	108	+ 16
その他	4	5	3	5	5	+ 0
連結売上高合計	331	321	333	407	475	+ 67

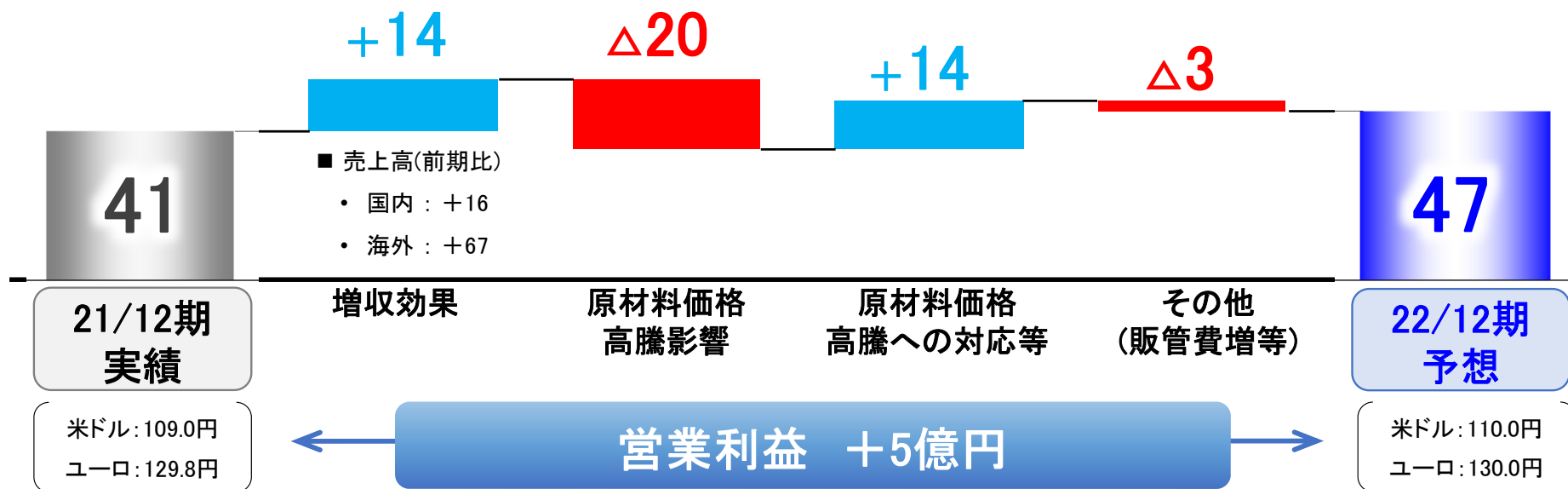
連結営業利益増減要因

前期比

+5億円

原材料価格高騰に伴う収益圧迫はあるものの、増収による売上総利益の増加に加え、構造改革と経営効率化の更なる取り組みにより増益を見込む

(単位: 億円、%)	20/12期 実績		21/12期 実績		22/12期 予想		前期比	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	20	1.4	41	2.6	47	2.8	+5	+0.2



将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。

食から日本を考える。

**NIPPON
FOOD
SHIFT**